

<活動の概要>

- ・本校は、『大好き 津田!』地域に学び、地域に育つ津田っ子の育成～地域の中でいきいきと活動する子どもを求めて～をテーマとして、地域のかたがたとのつながりを大切に、地域に愛着がもてる子どもの育成に取り組んでいる。
- ・ESD教育を通して育みたい資質・能力として、多面的、総合的に考える力・コミュニケーションを行う力・つながりを尊重する態度を中心に据えて、学年に応じた教育活動を推進している。
- ・一年間、四季の移り変わりに沿って行事を設定し、各学年が何らかの形で関わり、人と人とのつながりを育みながら実践を重ねている。

・活動の実際

① 防災に関する活動(4年)

校区の中心を流れる江川は、豊川放水路の支流である。2年前の6月に線状降水帯が発生した際、江川の水門を閉めることで豊川放水路からの水の逆流を防ぎ、水害を最小限にとどめた。4年生は、江川の入り口にある東江川樋門と豊川放水路周辺を見学し、水門の役割と「ふるさと津田」を守るために、有事のときだけではなく日頃から川の様子を観察している地域の人々の思いを知ることができた。子どもたちは、防災ハザードマップを作成し、地域を私たちの手で守りたいという思いのもと、子ども食堂で発表した。



② 平和に関する活動(6年)

校区を探検し、下五井町公民館の敷地内に忠魂碑を見つけた6年生。忠魂碑は、下五井町の人々が日清戦争のときに戦死したことを記したものだ、公民館を掃除する校区の人に教えてもらった。

子ども達は、豊橋が軍都と呼ばれた時代のことを学ぶために、豊橋空襲を経験した体験者から当時の話を聞き、戦争の悲惨さや、命の尊さに気づき、平和に暮らせる幸せが永遠に続くとういと願った。更に、ユネスコ協会のかたと、豊橋公園内にある戦争遺跡巡りを行うことで二度と戦争を起こしてはいけないという思いをもった。



③ 環境・キャリアに関する活動(3年)

校区内外のさまざまな「働く人」と会い、それぞれの仕事に対する思いや工夫について取材した。

スーパーマーケットや工場、飲食店では、消費者が納得して喜ぶ姿を想像し、創意工夫をこらしていることを知った。また、消防団など地域防災のために日々訓練に取り組んだりするなど、地域のために働く人々の存在にも気づいた。これらを通して、自らの未来のイメージを膨らませ、発表した。



④ 福祉に関する活動(5年)

校区にある特別養護老人ホーム「喜寿苑清須」を訪問し、利用者と交流をした。この施設は東三河に住んでいるかただけしか利用することができないことを知った。また、津田校区にはさまざまな人が暮らしていて、どのように支え合っているのかを考えた。自らの生活や生き方に生かしたいという思いをまとめて発表した。



⑤ 環境・キャリアに関する活動(1・2年)

1・2年生で校内探検を行った。下調べを丁寧に行い、グループで何度も原稿を練り直し、練習をして、当日はわかりやすく説明することができた。2年生は、1年生との校内探検を通して自分自身の成長を実感することができた。2年生に校内を案内してもらった1年生は、学校への愛着を深めるとともに、2年生への親しみや憧れの思いをもち、成長する自分を思いえがいた。1年生はアサガオやチューリップ、2年生は夏野菜の栽培に取り組み、植物の成長過程の観察や作業を体験したことで、自然からの恩恵を実感した。1年生はゆたかクラブのかたをお招きし「昔の遊びを楽しむ会」を開いた。遊びを通して、地域のお年寄りと交流し、家族や地域のかたに見守られて安全に楽しい毎日を過ごせているという思いをもった。

